

第35回 博多港地方港湾審議会

【説明資料】

令和8年2月4日

博多港港湾管理者 福岡市

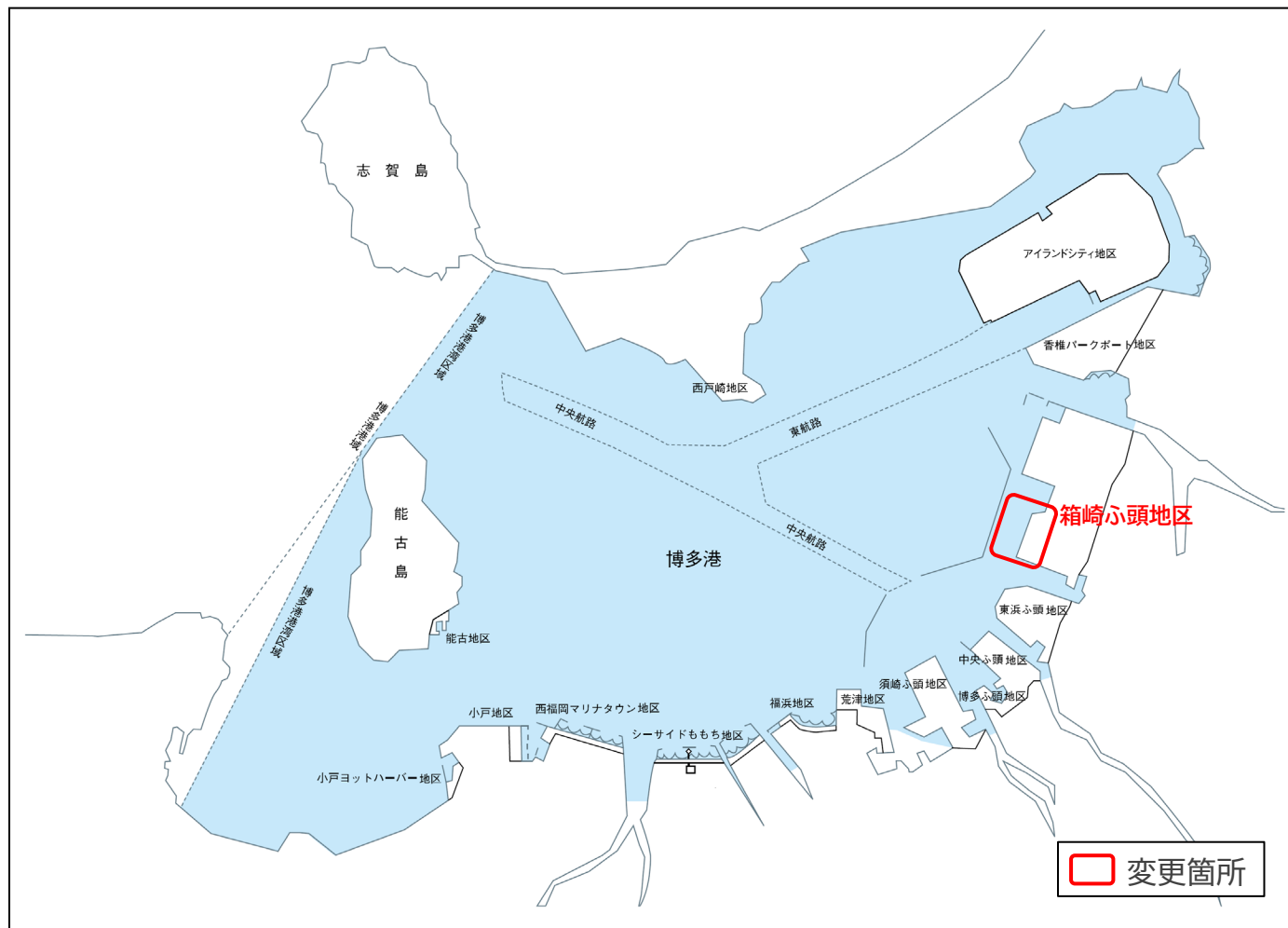
《 審議事項 》

議案第1号

博多港港湾計画の一部変更について
(箱崎ふ頭地区)

1. 計画変更の位置

- 箱崎ふ頭地区において、RORO船の大型化やモーダルシフトの促進等に対応するため、港湾計画の一部変更を行う。



2. 計画変更の流れ

R7.12.17

（地方港湾審議会付議案）
議会報告



R8.2.4

博多港
地方港湾審議会

※今回



R8.3月予定

交通政策審議会
※国の諮問機関



R8.3月予定

公示

3. 計画変更の背景

■ 東京港および敦賀港との間で**定期RORO船が就航**

■ 九州と**首都圏**や**北陸地方**をはじめ、**中部・近畿・北海道**を結ぶ**物流網が形成**

博多港のROROネットワーク



箱崎ふ頭に就航している定期RORO船

① 東京航路



週**6**便
(33 時間)

九州－関東間の大動脈物流

② 敦賀航路



週**3**便
(20 時間)

九州唯一の日本海側物流

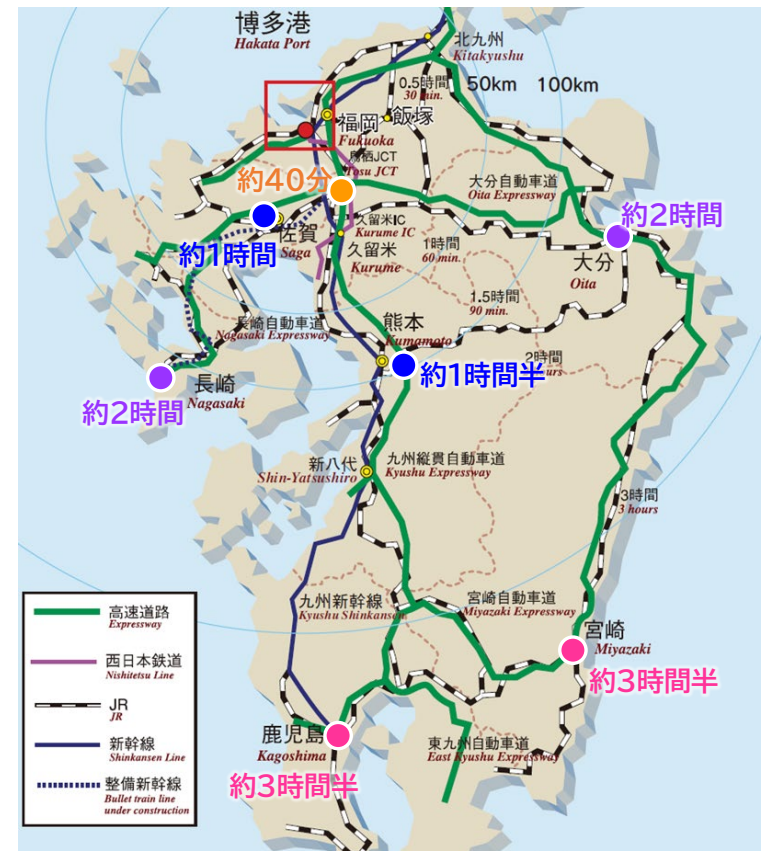
3. 計画変更の背景

- 博多港は、高速道路による九州各県との広域交通網の形成等により、福岡市ののみならず九州の市民生活や経済活動を支える役割を果たしている

半径 5 km 圏内に集積する輸送モード



博多港を起点とする九州域内ネットワーク



博多港から片道 4 時間で九州全域をカバー

※インターチェンジまでの所用時間をGoogle Mapsにて算出

3. 計画変更の背景

■ RORO船が運ぶ主な貨物

完成自動車



飲料



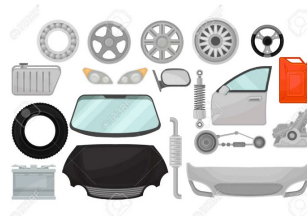
食料品



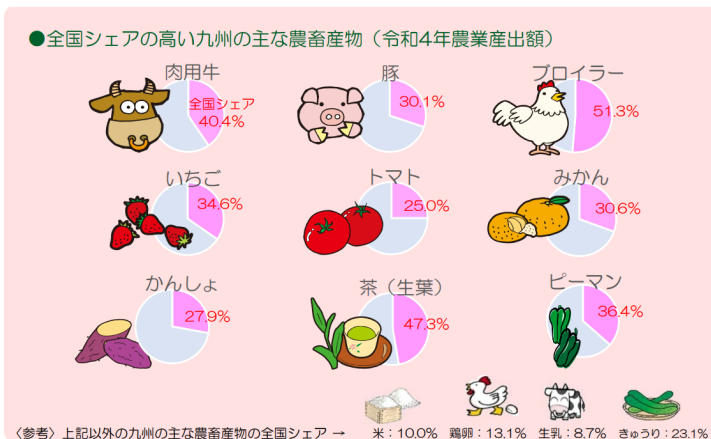
日用雑貨



工業品



農産品

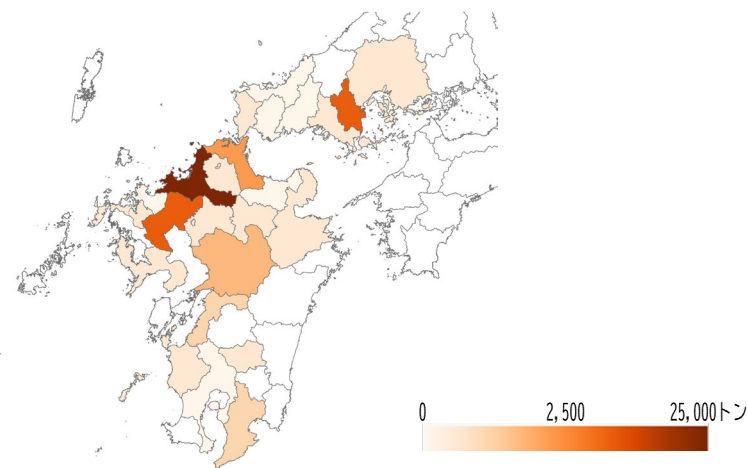


出典：農林水産省「統計で見る九州農業の概要」

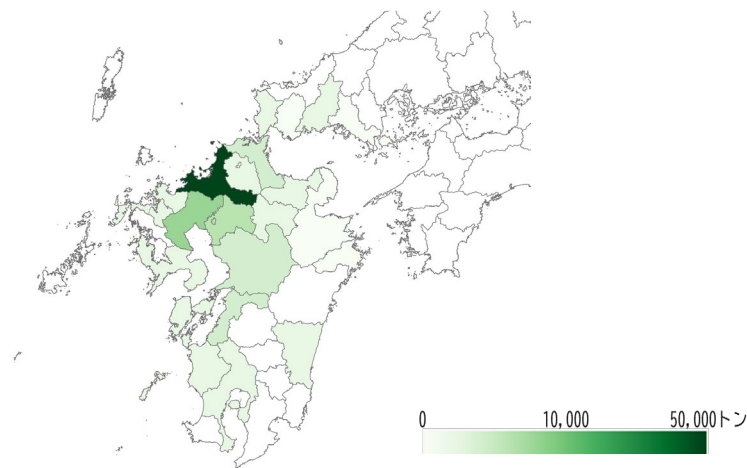


■ RORO貨物の発着エリア

生産地（博多港発⇒東京港着）



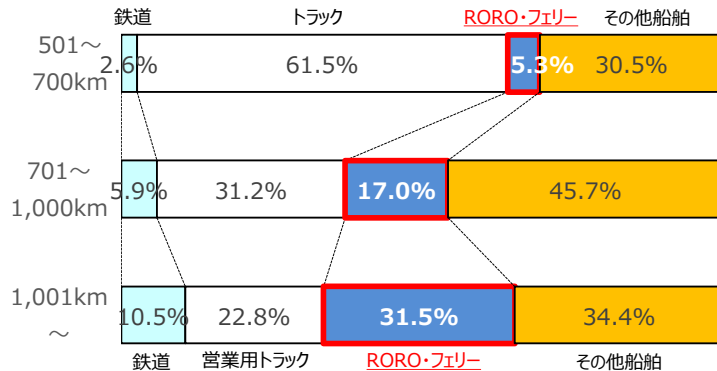
消費地（東京港発⇒博多港着）



出典：国土交通省「令和4年度ユニットロード貨物流動調査」をもとに作成

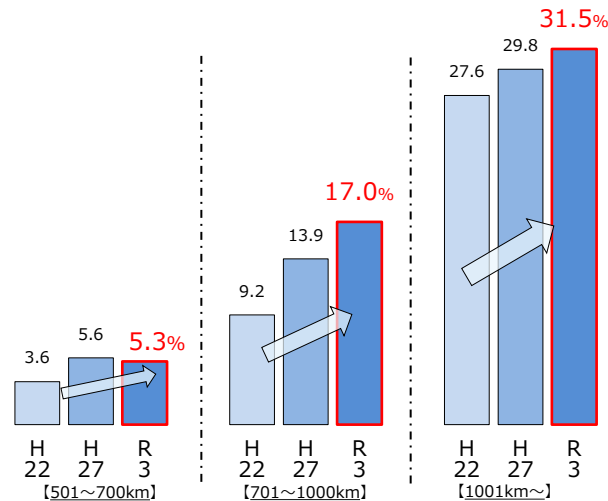
3. 計画変更の背景

■ 輸送手段別距離別の輸送割合（全国）



出典：国土交通省「全国貨物純流動調査報告書」をもとに作成

■ RORO・フェリーの輸送割合の推移（全国）



※H22はコンテナ船を含む

出典：国土交通省「全国貨物純流動調査報告書」をもとに作成

■ 航路別の積載率（博多港）

・東京航路

※ 満載に近い

	令和2年		令和6年
移入	93%	⇒	95%
移出 ※	86%	⇒	86%

※ 途中寄港地での積み荷を含まない

※船社ヒアリングをもとに作成

・敦賀航路

※ 顕著に増加

	令和2年		令和6年
移入	34%	⇒	82%
移出	32%	⇒	78%

※船社ヒアリングをもとに作成

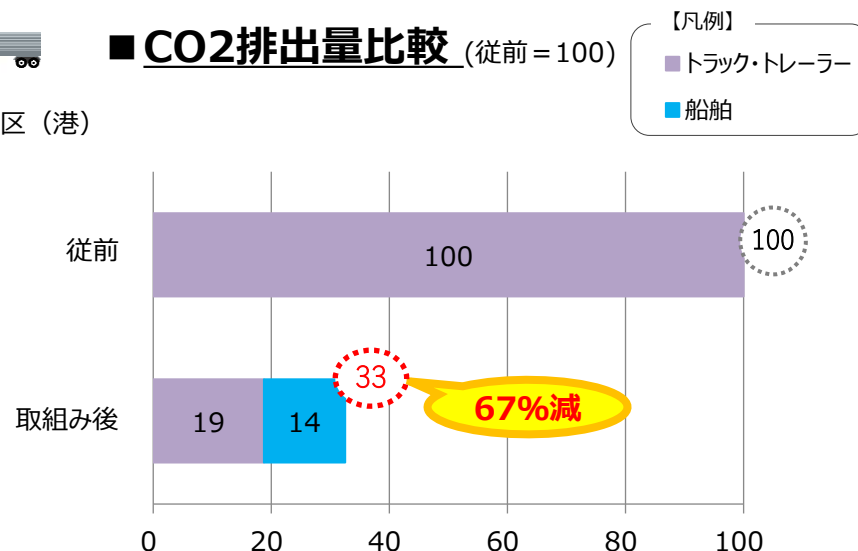
3. 計画変更の背景

■ 博多港におけるモーダルシフトの事例① 【建材】

- ・九州から関東の工場向けの陸上輸送をRORO船輸送にシフト
- ・輸送コスト12%削減。CO2排出量を**67%削減**



■ CO2排出量比較 (従前 = 100)



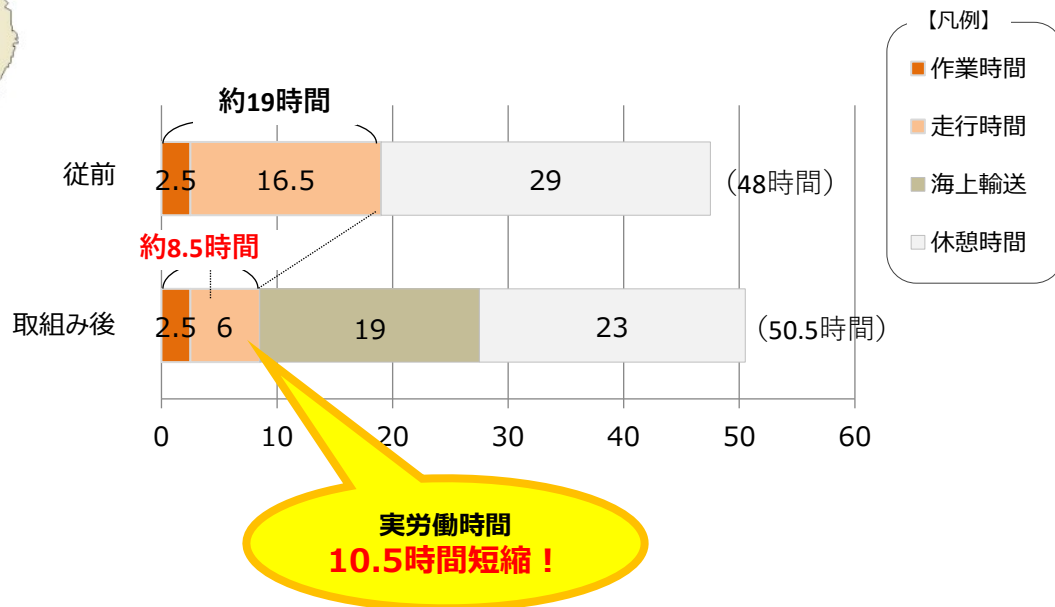
3. 計画変更の背景

■ 博多港におけるモーダルシフトの事例② 【食料品】

- ・北陸から福岡の倉庫向けの陸上輸送をRORO船輸送にシフト
- ・ドライバー労働時間を**10.5時間短縮**、CO2排出量を**56%削減**



■ ドライバー実働時間比較 (単位：時間)

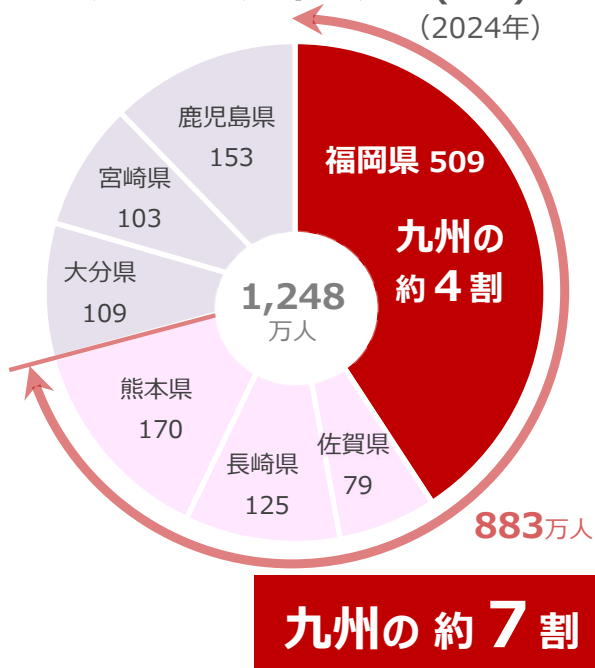


3. 計画変更の背景

■ 博多港のポテンシャル

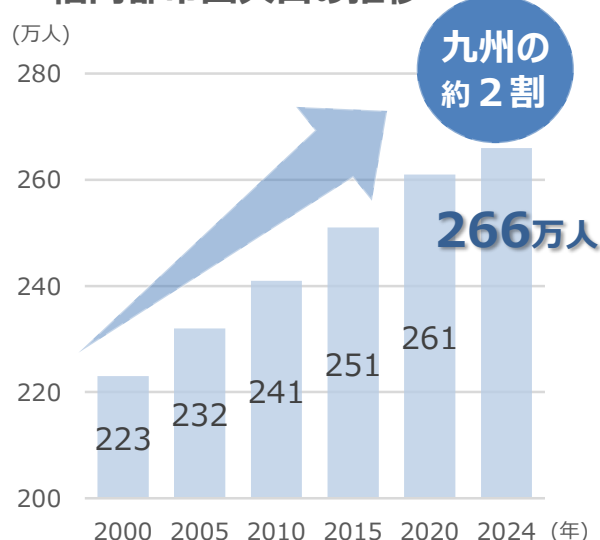
■ 博多港の背後圏

九州の都道府県別人口(万人)
(2024年)

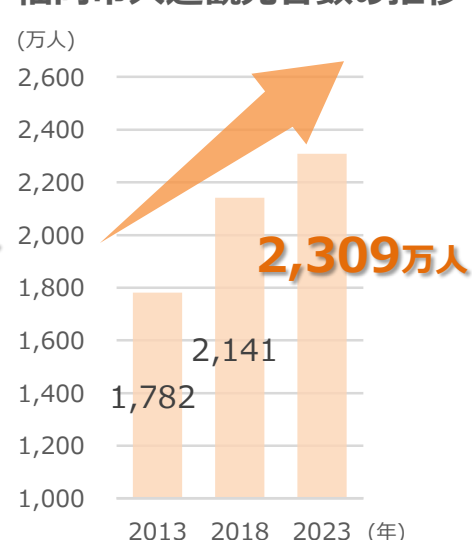


■ 人口・入込観光客数が増加傾向

福岡都市圏人口の推移



福岡市入込観光客数の推移



※博多港背後圏：RORO貨物の博多港利用シェアが一番高い県

3. 計画変更の背景

■ 博多港のポテンシャル

■ 製造業の大規模設備投資が進展

製造業の大規模設備投資（10億円以上）
約**1,092億円**（九州全域の約**6割**）

※半導体関連産業を含まない

出典：九州経済調査協会「図説九州経済2025」をもとに作成

背後圏における
分譲可能な10ha以上の産業用地
162ha

今後も大規模設備投資の余地あり

出典：（公財）九州経済産業局「産業用地マップ」をもとに作成
（2024年12月末時点）



3. 計画変更の背景

■ 博多港のポテンシャル

■ 消費需要の高まりなどを背景に **大型物流施設の立地拡大が進展**

物流施設数（総賃貸面積1万㎡以上）：2020年比 **約2.5倍に増加**（2020→2025～）

◆ **物流施設の分布と変遷**（総賃貸面積1万㎡以上）



出典：CBRE「九州地方の物流特性と展望：九州北部の物流集積地を開設」 URL:<https://www.logi-square.com/column/detail/250410>

3. 計画変更の背景

■ 博多港のポテンシャル

2024年3月竣工



T-LOGI 福岡アイランドシティ（東京建物等）
延床面積：約148,350㎡（九州最大級）

2025年竣工



LOGI STATION福岡小郡（JR九州）
延床面積：約85,000㎡

2028年竣工予定



GLP福岡ICプロジェクト（日本GLP）
延床面積：約150,000㎡（九州最大級）

2027年竣工予定



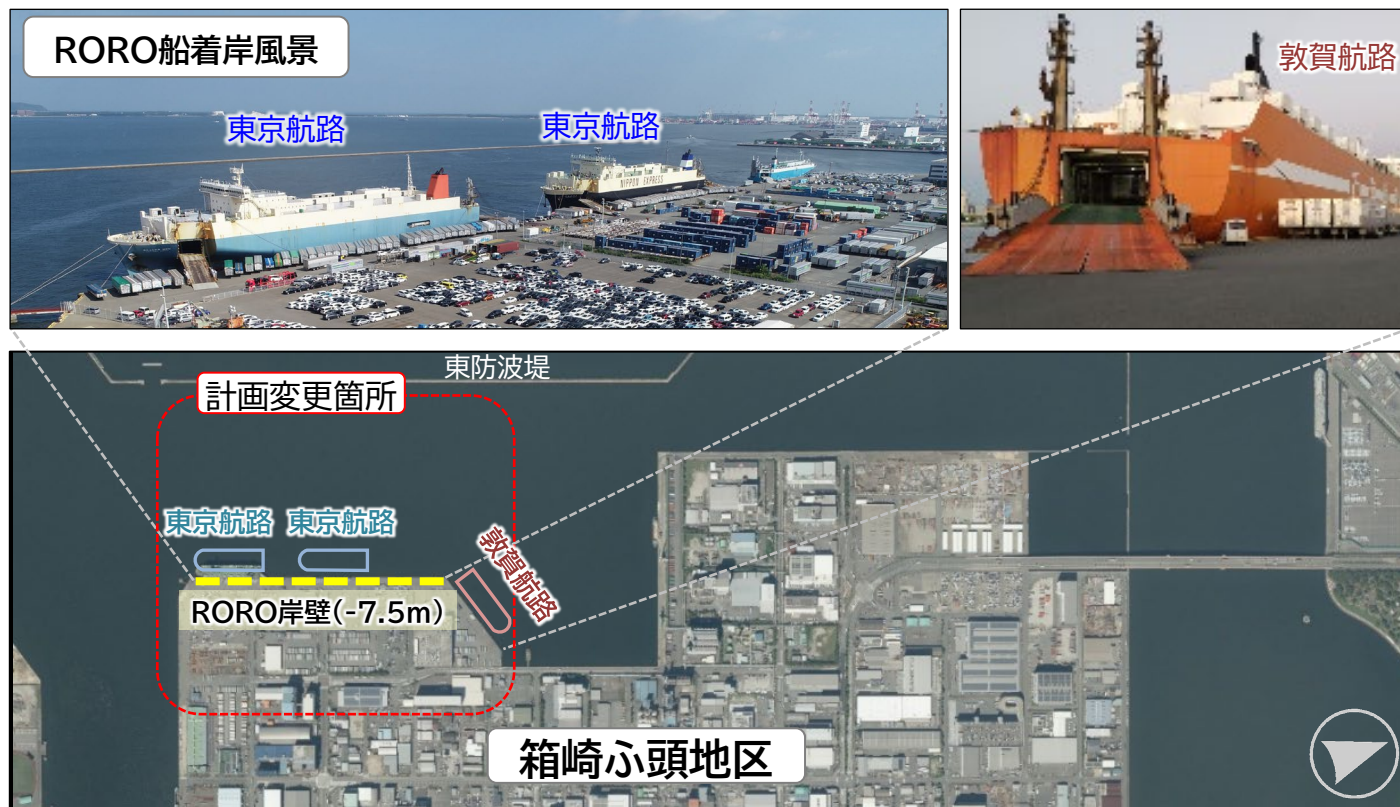
N-Base福岡新宮（西部ガス）
延床面積：約70,300㎡

4. 計画変更の目的

- 昨今の「物流2024年問題への対応」、「カーボンニュートラルの実現」という社会的課題を背景に...

- RORO船輸送へのモーダルシフト需要の高まり
- 船会社は、更新期を捉えた大型新造船等の投入を順次予定

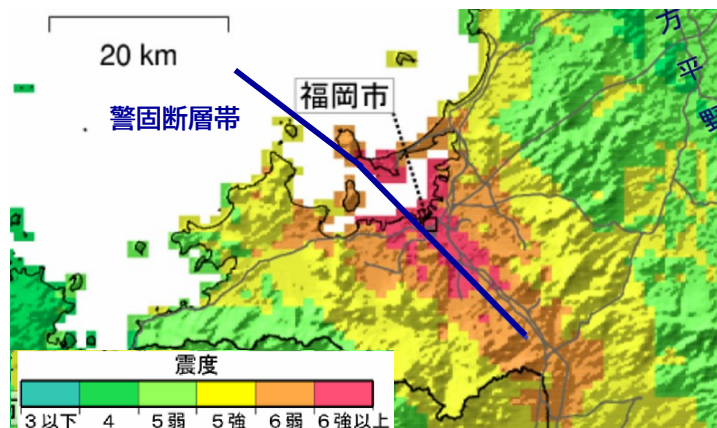
しかし、既存岸壁(-7.5m)の**水深不足**により、大型船の**就航が困難**



4. 計画変更の目的

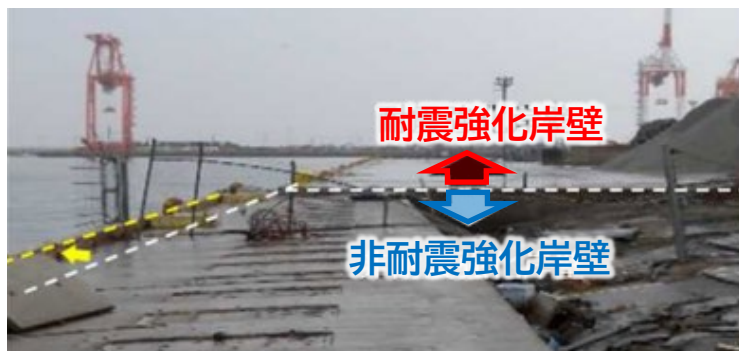
■ 大規模災害時においても物流機能を維持するため、博多港の 災害対応力の強化が喫緊の課題

警固断層帯(南東部)が活動した場合
＝ 推定M7.2の予測 ＝



出典: 政府地震調査研究推進本部 地震調査委員会「主要活断層帯の長期評価」

能登半島地震の例(耐震強化岸壁)



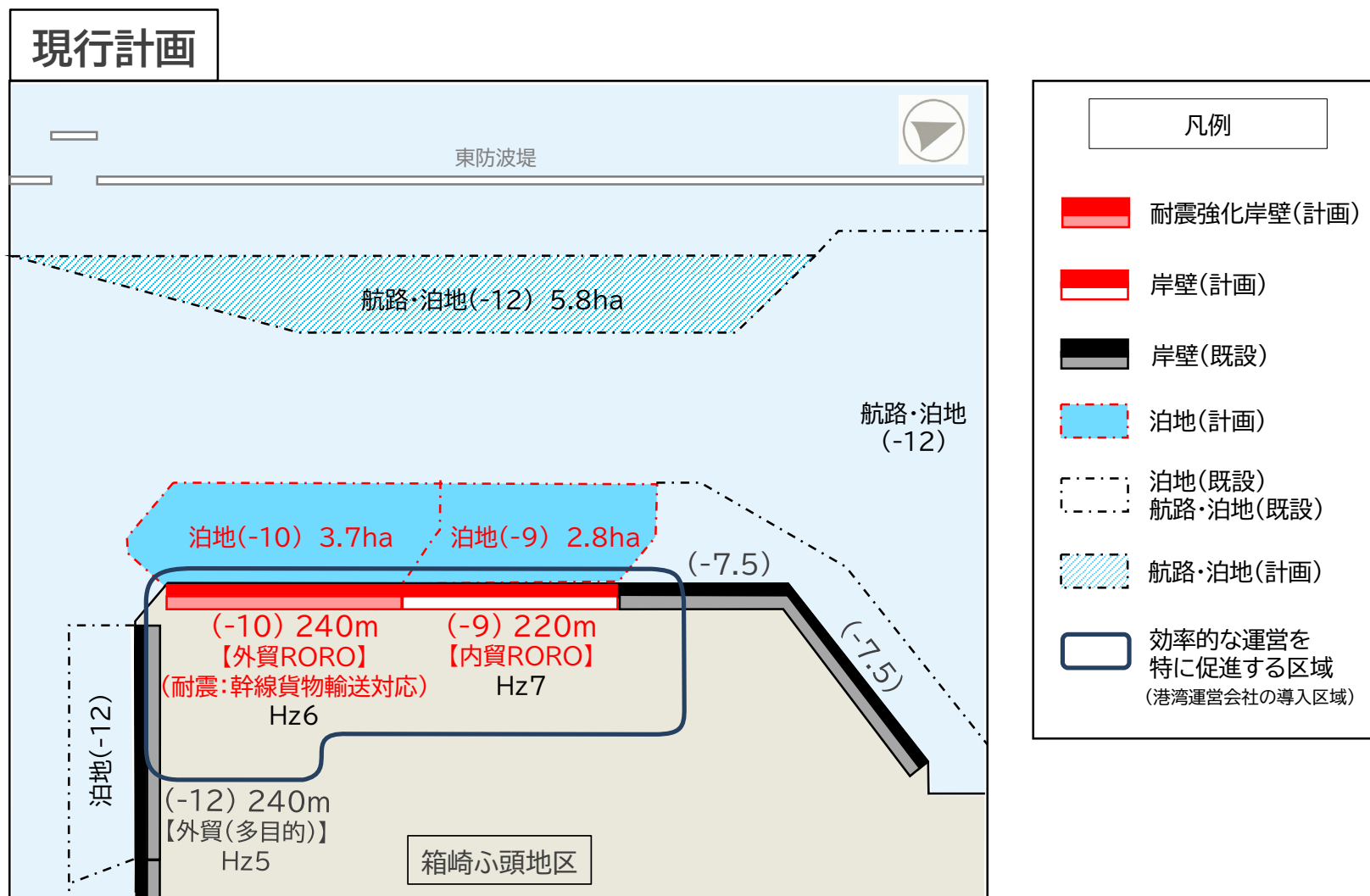
出典: 国土交通省港湾局「気候変動を考慮した臨海部の強靱化のあり方に係る参考資料」をもとに作成

現状、耐震強化岸壁はアイランドシティ地区のみ

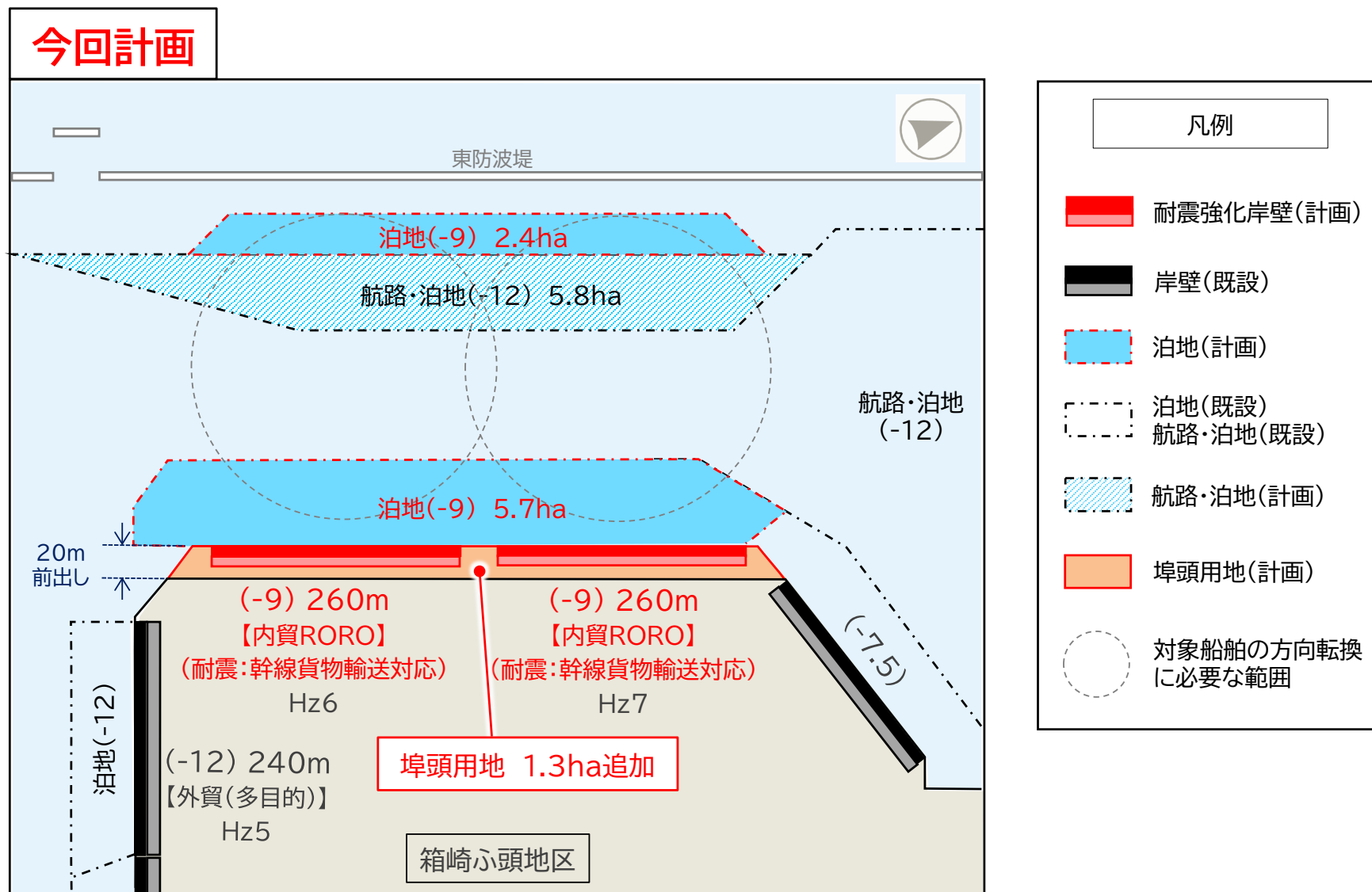


5. 計画変更の内容

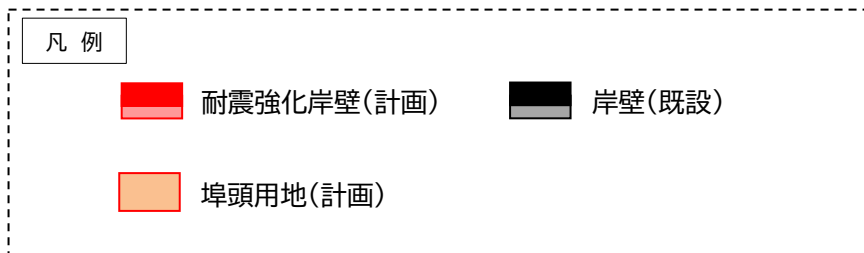
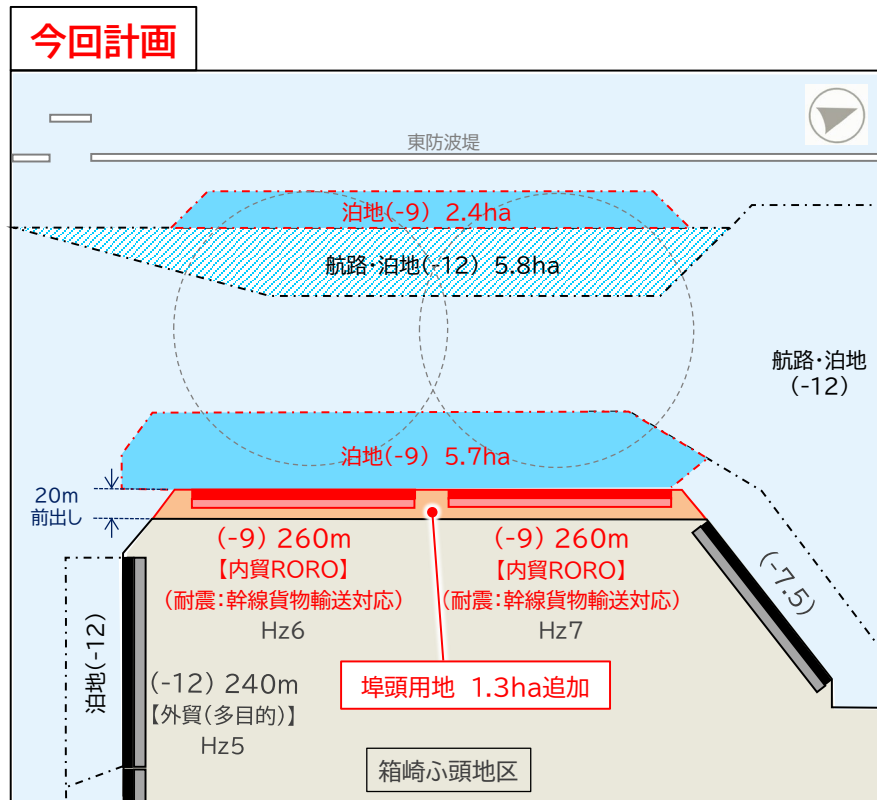
- 箱崎ふ頭地区において、大型RORO船の就航に対応するため、岸壁や泊地などについて、計画を変更



5. 計画変更の内容

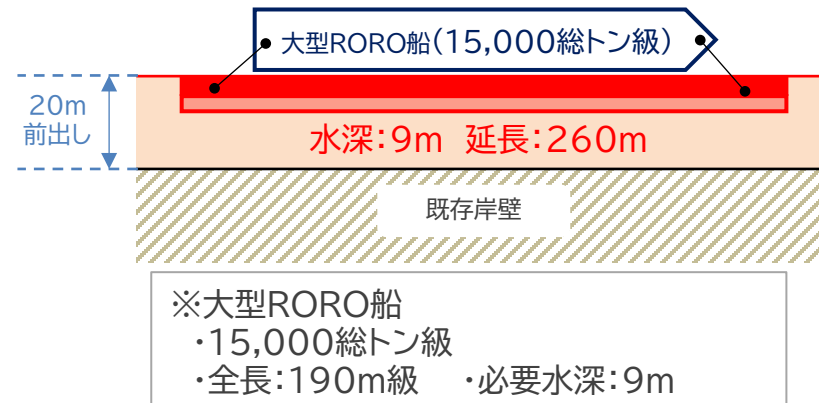


5. 計画変更の内容



1. 岸壁

- 大型RORO船※の就航を可能とするため、「水深9m、延長260mの岸壁2バース」を計画

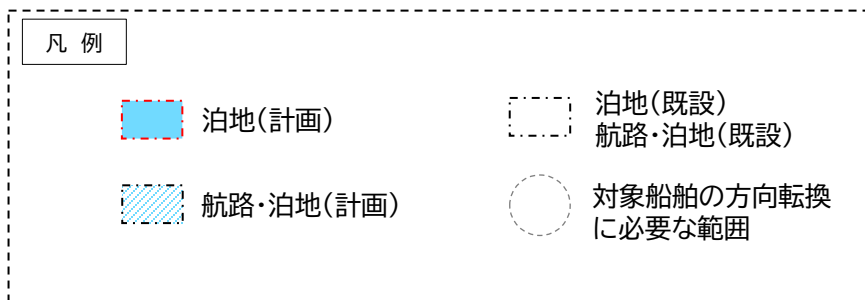
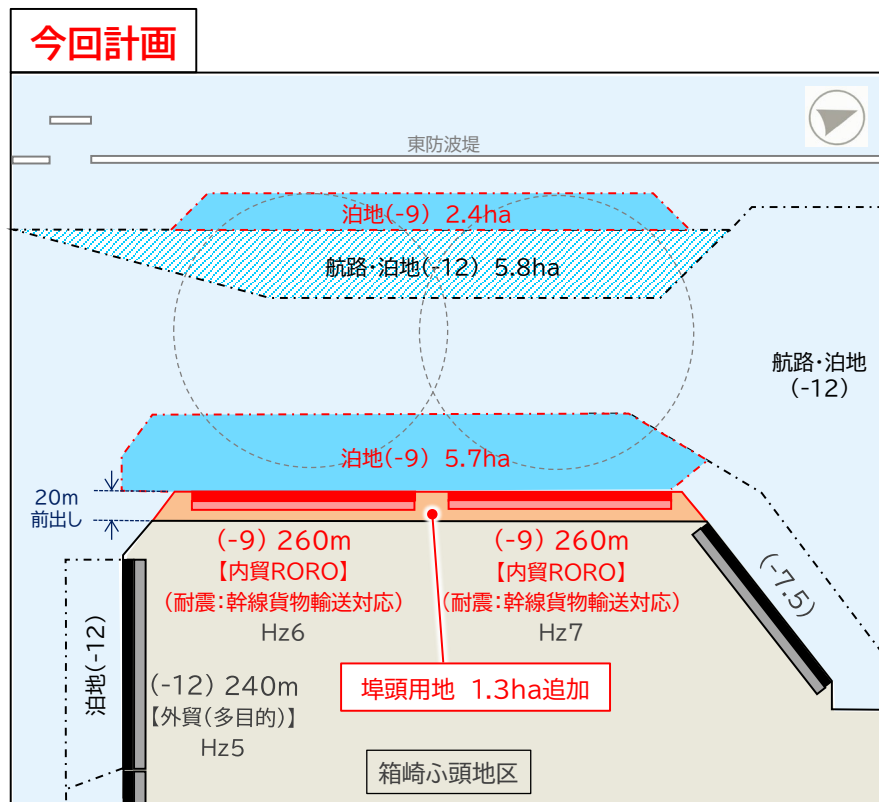


- 震災時も物流機能を維持するため幹線貨物輸送用の「耐震強化岸壁」とする

2. 埠頭用地

- 荷役の安全性・効率性を図るため、「埠頭用地を1.3ha追加」

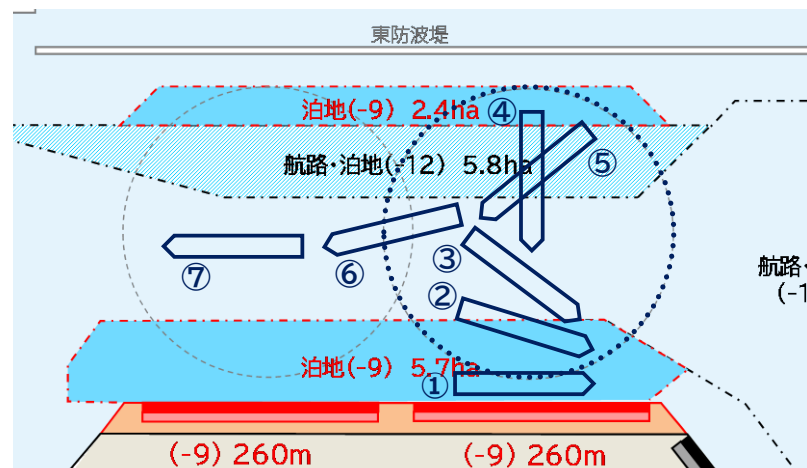
5. 計画変更の内容



3. 泊地

- 基準に基づき対象船舶の全長の2倍を直径とする回頭円を確保

出航時の操船例



4. 効率的な運営を特に促進する区域

- 港湾運営会社による国際・国内ROROターミナルの運営を想定していたが、現時点において、国際RORO船の就航がない状況などを踏まえ「区域から除外」

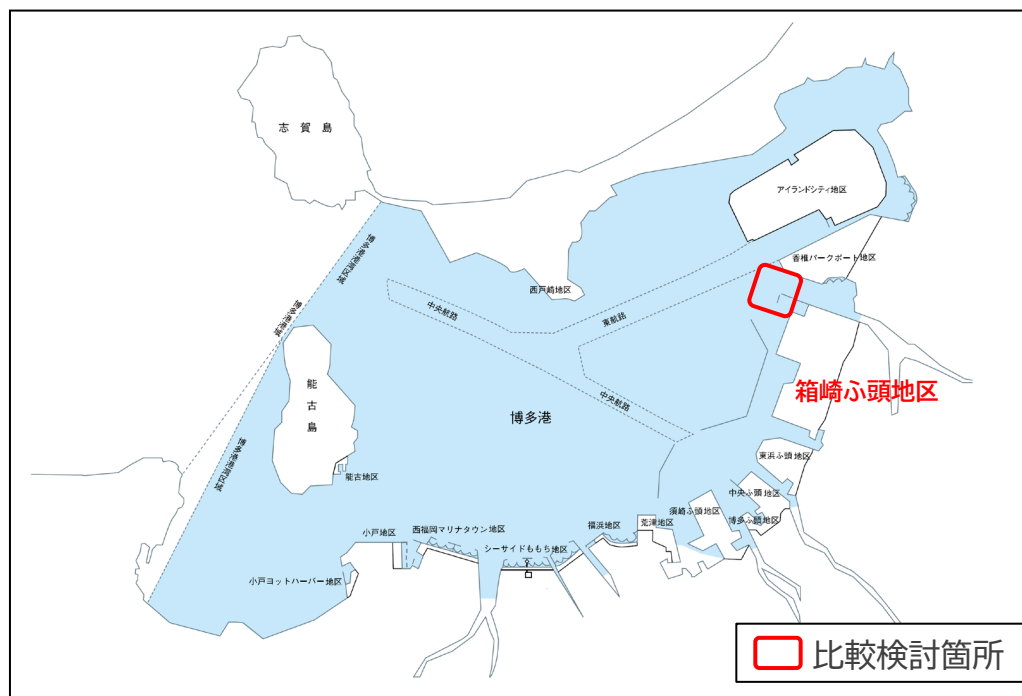
6. 計画段階評価

■ 計画段階評価とは・・

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の向上を図るため、国直轄事業が見込まれる施設を対象とした港湾計画の変更を行う場合、計画案を複数立案し、比較・評価を行うもの。

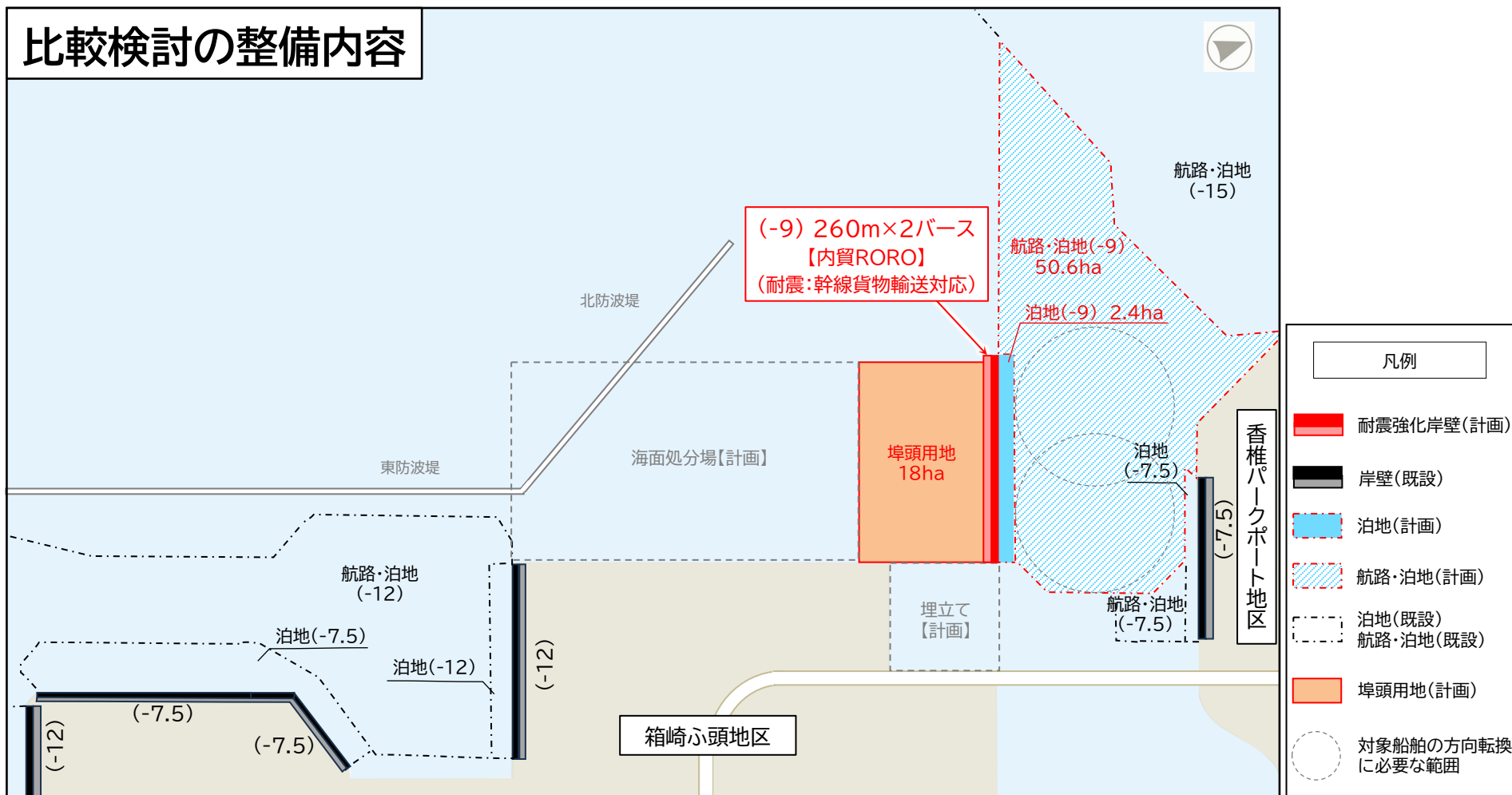
■ 比較検討

博多港全体の利用状況などを踏まえ、以下の箇所を比較対象とした。



6. 計画段階評価

比較検討の整備内容

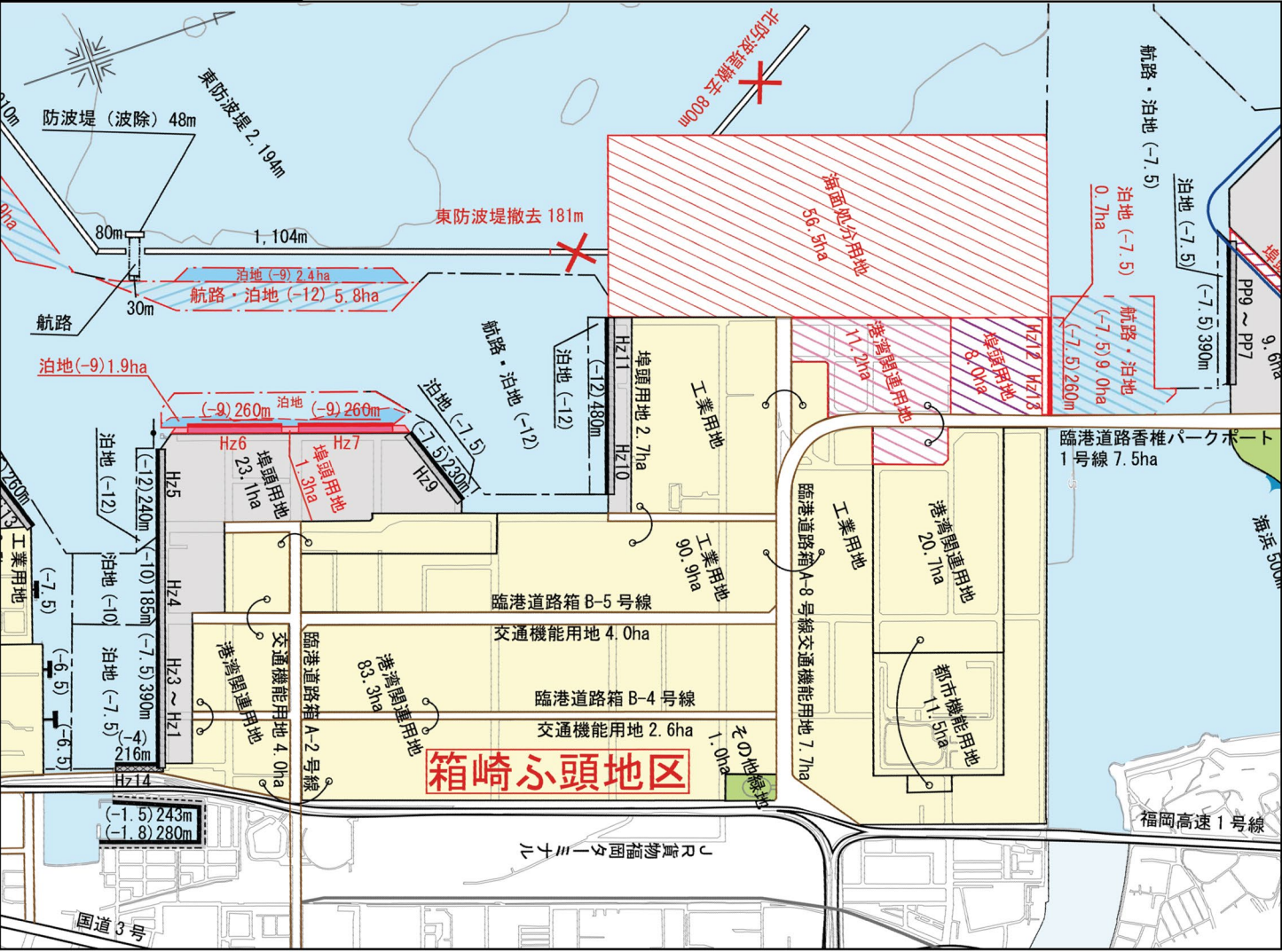


【比較検討の結果】

埋立てを伴うため、整備に10年以上を要し、
大型RORO船の早期受け入れができないことから、不採用とした。

7. 博多港港湾計画図（箱崎ふ頭地区）

今回計画



凡 例		
	航路・泊地	(今回計画)
		(既定計画)
		(既設)
	防波堤	(既設)
	公共岸壁	(既定計画)
	公共岸壁	(既設)
	公共岸壁 (幹線貨物輸送用)	(今回計画)
	公共物揚場	(既設)
	物資補給岸壁	(既設)
	専用ドルフィン	(既設)
	施設撤去	
	海	浜 (既設)
	埠頭用地	(今回計画)
		(既定計画)
		(既設)
	緑地	(既設)
	その他緑地	(既設)
	交通機能用地 (臨港道路)	(既設)
		(既定計画)
	その他用地	(既設)
		(既定計画)
	効率的な運営を 特に促進する区域	